紫苑グループの情報をお届けします

SHION

2026

秋号

福山南病院　ふじいクリニック　鞆藤井医院



TOPICS：

- 「家族の命を守るため親子で学ぼう！」
- 向丘中学校で企業講和を行いました！
- ベネズエラ地震ネパール地震熊本地震PWJの活動
- 新任医師のご紹介
- 吉田医師・小寺医師おかえりなさい！
- 医学生の研修



【ふれあい看護体験2026】
ご参加いただいた皆さん
ありがとうございました！

「家族の命を守るため親子で学ぼう！」



9月13日（日）に「家族の命を守るため、親子で学ぼう！」をテーマとした救急イベントを、福山地区消防組合と福山南病院が会場となり開催しました。（主催は福山・府中地域保健対策協議会）

9月9日は救急（99）の日で、その週は救急医療週間となっています。それに合わせての開催で小学校3−6年までの子供とそのご家族、合計9組30名ほどに参加していただきました。（募集当日にすぐ締め切りとなるほどの人気でした）



福山地区消防組合では、
- 商業施設を訪れていた家族の父親が胸痛を訴えた後、心肺停止になり、心肺蘇生を行う寸劇
- 救急車を呼ぶか迷った時に電話で助言をもらえる#7119の体験
- 消防司令室の見学
- 心肺蘇生の体験
- 救命士役になる体験

福山南病院では、
3グループに分かれて
①救急外来での体験
（血圧測定、心電図モニタの装着、酸素投与など）
②処置室でAED体験
③エコー（超音波）室でエコー体験

子供たちは、最初は緊張しながらも興味津々で、実際に手で触って体験して楽しんでくれていました。この中から是非、また救急医療含む医療の職を目指してくれる子供たちが出てくれれば嬉しいです。

向丘中学校で企業講和を行いました！

中学生の皆さんが事前に福山南病院や医療従事者の立場について深く調べて臨んでくれたことに、大変感銘を受けました。 パソコンで作成された資料を用いてスクリーンでプレゼンテーションを行う姿や、一生懸命にメモ書きする姿勢が非常に立派で、名刺交換などの交流も含めて非常に良い経験となりました。



特に、病院側から提案した「受診前・緊急時に自分たちができること」という課題に対して、自ら作成・提案してくれた「入院・受診時の持ち物チェックリスト」は、一目で必要なものが分かる大変素晴らしい内容で、病院でもぜひ活用したいと感じるものでした。

医事課：村上　リハビリ科：大谷

ベネズエラ地震/ネパール地震/熊本地震「PWJ」の活動

※PWJ：ピースウィンズ・ジャパン

2026年1月から、福山南病院の外来で勤務しております、看護師の戸田です。週に1日程度、外来で採血や問診を担当しています。

普段は、神石高原町を拠点とする空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”（アローズ）の看護師として、国内外の災害支援に携わっています。ARROWSは、認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパンが運営する、医療を軸とした災害緊急支援プロジェクトです。医師、看護師、レスキュー隊員、ロジスティクス担当などが協力し、救助・診療から物資支援、避難所の環境整備、復旧まで、現地の状況に応じた活動を行います。



2026年6月、南米ベネズエラで大きな地震が発生しARROWSの医療チームは7月に現地入りしました。診療所には、地震によるけがのほか、下痢や嘔吐、体の痛みを訴える方が訪れ、避難生活が長引くにつれて、不眠や皮膚のトラブルも増えていました。チームは、現地の医療者や通訳と協力し、診療とともに、不安を抱える方々の話に耳を傾けました。



また、7月28日に発生した熊本地震では、私も被災した病院での支援に入りました。病院の医師や看護師と協力して患者さんの状態を確認し、治療を継続できる病院への搬送や、救急患者の受け入れを支援しました。

現在も熊本県において、私たちのチームは活動を継続しています。避難所での診療や入浴支援のほかパーテーションや段ボールベッドの配置、トイレの増設調整、避難者の健康確認、他の医療チームとの連携など、避難所の環境と運営を支えてきました。また、避難所まで物資を取りに行くことが難しい在宅避難者へ支援を届けるため、訪問看護・介護事業所などと連携し、必要な物資を配送する仕組みも整えました。現在は主に氷川町で避難所運営を続け、表に出にくい困りごとを拾いながら、生活再建につながる支援に取り組んでいます。被災地での活動と福山南病院の外来では、環境も使える医療機器も異なります。それでも、一人ひとりの体調を確かめ、話を聞き、必要なケアにつなぐという看護の基本は共通しています。被災地で得た気づきを、日々の外来での関わりにも生かしていきたいと思います。

災害支援への出動を受け入れ見守ってくださる福山南病院の皆さまには、大変感謝しています。
これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

空飛ぶ捜索医療団 ARROWS

新任医師のご紹介



【松村明毅医師】



【川岸倖希医師】



【二井歩美医師】



【中嶋祐斗医師】



【中嶋医師】
中嶋と申します。内分泌・糖尿病を中でも専門としていますが、内科全般に十分対応できるように頑張ります。
よろしくお願いいたします。

吉田医師・小寺医師おかえりなさい！



【吉田医師】
10月より福山南病院に戻って参りました、総合診療科の吉田こころです。
この約1年半、内科診療に加え、緩和ケアや在宅診療を中心に研修を積んで参りました。再び大好きな福山で皆様の診療に携われることを心から嬉しく思っております。
病気のことはもちろん、生活の中での困りごとや不安などもお気軽にお話しください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

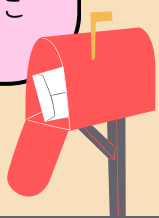
【小寺医師】
この度、3か月間の救急科研修を終え、当院に戻ってまいりました。
研修先では幅広い分野の症例を経験し、救急診療に関する知識や技術を学ぶことができました。
今回の研修で学んだことを、今後の診療を通して皆様に還元できるよう努めてまいります。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



岡山大学より2名の医学生が実習に来られました



各科と総合診療の外来や救急対応の見学、地域交流など幅広い経験をさせていただきました。特に、多疾患を抱える高齢の患者さんとご家族が現実の中で最善の選択ができるよう、スタッフの皆さんが親身に折り合いをつけながら支えている姿がとても印象的でした。限られた時間の中でも施設への外出を提案するなど、その人らしい生活や家族の時間を大切にする温かい医療を肌で学ぶことができました。



SHION GROUP
ご相談はこちら
お問い合わせ
電話：084-920-5050（代表）084-920-5052（地域連携室）
FAX：084-956-0015（代表）084-956-0033（地域連携室）